

山層雲峡ビヅターセンター



【エゾシマリス～9月】9月中旬、大雪山系黒岳周辺で気温1℃……。シマリスも慌てて貯食にお忙し。こちらの様子もまったく気にせず、九合目周辺で高山植物の「ウコンウツギ」の実を食していました。細い枝を巧みに操り、手前に引き寄せ実をパクリ。枝から枝へ忍者のように渡り、時には地面に落ちながらも冬に備える姿はやはり感動的でした。



【仔熊～8月】2頭の仔熊が「じゃれあって」いましたが、どんどんエスカレートし取っ組み合いのケンカに……。すかさず雪渓上部で仔を見守っていた親熊が猛烈な速度で仔のそばに。2頭を引き離し、仲良く3頭で雪渓を下っていきました。どの世界も仔を想う親の気持ちは同じですね。(8月上旬：大雪山系烏帽子岳下部)



【カヤクグリ～8月】スズメと同程度の大きさの「カヤクグリ」。本来、高山のハイマツ帯に生息していますが、この日は大雪山系黒岳七合目で給餌をしていました。歩き始めでしたが、中々そばから離れず、とうとうカメラのレンズに乗ってきたところをコンデジでパチリ(ぼけましたが…)この鳥、雌が雄に求愛しますが、一妻二夫ならず三夫説も…。



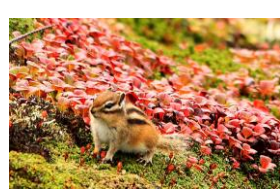
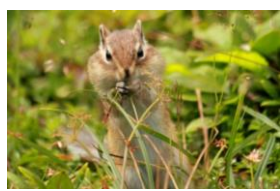
【ゲット～8月】首を左右にキョロキョロ「何をしているのかな？」とその時「ダイセツタカネフキバツタ」をゲット。何度か失敗していましたが、狙った獲物は外さない、ギンザンマシコの狩りの様子でした。大雪山系雲ノ平にて



【ケラ～9月】久しぶりに「ケラ」を見ました。ケラって？いわゆる、キリギリス・コオロギ等の属するグループです。基本、地中生活ですが、夜間に街灯の下に集まっています。昔から「オケラ」の俗称で呼ばれていましたが、様々な理由で日本を含めた世界中で数が減少しています。体長は成虫で30mm、モグラと同様、運動量、代謝量が膨大で、水分不足、飢餓に弱く水分が得られないと一晩で息絶えます。雑食性で、植物の種子や根、ミミズなど様々な動植物質を食べます。



【シマリス～8・9月】8月下旬、気温が高く推移した影響で、動物たちが中々活発化せず、その姿を見る回数も少ないものでしたが、9月に入りようやく慌ただしく貯食活動が見られました。動物たちにとっても、お天気に左右される年が増えてきているようです…。



【おねだりギツネ～8月】道路を走行中、親離れしてからあまり日数が経過していないと思われる仔ギツネに出会いました。減速すると案の定近寄って、写真の通りまるでネコのような甘えた仕草。可愛い仕草で餌をねだる行為です。困ったものです…。

餌やり厳禁です!! 詳細は前号をご覧ください
ただけるとおわかりになります。7月号



【ジョウビタキ繁殖～8月】センター周辺でジョウビタキが繁殖しました。中々見る機会のない鳥で、生態は数少ない旅鳥とされています。1983年に大雪山麓で5羽の巣立ちが確認され、日本で最初の繁殖記録となりました。その後数例の繁殖情報がありますが、2012年に層雲峡陸万地区で繁殖が確認されました。その後もジョウビタキの姿や若鳥の姿を確認していましたが、本年8月に2羽の繁殖をここ層雲峡で確認しました。雌雄で給餌をしますが、雄の姿は見当たらず雌のみでの給餌でした。上川町でもその姿が確認されており、意外と多く渡ってきているかもしれません。鳴き声に特徴があり「ヒッヒッ」「カッカッ」、鳥とは思えない声の持ち主です。(左上枠内が雄です)



【ヒグマ～8・9月】

今年はヒグマの痕跡・目撃情報が多い年でした。ヒグマはどこにでもいますが・・・。個体数が増えているのか・また別の事由なのかははっきりとしませんが、特に「白雲岳避難小屋」周辺に出没した熊は「異常個体と認識」され、テント場使用の自粛に追い込まれる事態ともなりました。その他、看板への「かじり」「背こすり跡」、登山者との至近距離での遭遇、「うなり声」をあげながら近寄る事例や日中に登山道を平気で横切る等々普段はあまり見かけない光景もありました。また、鳴り物を携行しても、笛を鳴らしても逃げない事例等も発生しました。しかし、現段階ではやはり鳴り物が有効です。是非とも持参していただきたいと思います。また、縦走を計画される方につきましては、これからは熊スプレーの携行も考慮されて下さい。

写真：大雪山系黒岳石室～赤石川周辺 熊フン



【アカエリヒレアシシギ～9月】

写真は幼鳥、上川町旭ヶ丘地区のやや標高の高い場所、生態は「旅鳥」、生息環境は海岸や海上、河口ですが前日の強風で迷い込んでしまったようです・・・。その後元気に飛び立って行きました。



【エゾシカ親子～8月】

8月後半、センター周辺に親子鹿が毎日現れていました。親2匹・仔2匹で仲良くフキなどを食べている光景が、来館者を楽しませていました。時には仔同士でじゃれあったり、親の姿が見えないと仔の心配する様子が見れたり、その生態の説明にも力が入る出来事でした。

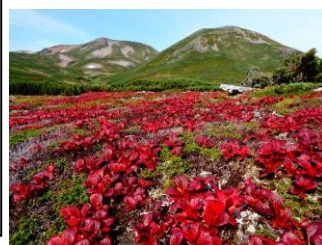


【仔ギツネ～9月】大雪山系桂月岳周辺で、キタキツネが繁殖したようです。写真は仔ギツネですが、親離れをしたらからやや日数が経過したようです。人慣れはしているものの、自ら餌を捕食しており立派に野生のギツネとして育っていくことでしょう。麓では春先の光景ですが、この時期に仔ギツネが見られるとは・・・。



【ウラシマツツジ～9月】

このツツジが色付くと「紅葉前線スタート」。今年も真っ赤に色付いてくれました。春先に先が細い壺形のクリーム色のお花を付ける落葉小低木です。





折って切って開いたら、あらすテキ♪

子供から大人まで楽しめます。

参加自由・無料/申し込みは不要です



■大雪山フィールドノート写真展■

(日時) 常時展示

皆様のお越しをお待ちしております。

【場所】ビジターセンターレクチャールーム

(内容) 一年を通じた大雪山の自然を写真と解説文で紹介しています。

*秋季観察会

紅葉散策・層雲峡周辺

10/4・5・6・11・12・13・14 (午前のみ)

★★観察会は事前申し込みが必要です★★

★★詳細についてはお問合せください★★



しきものカレンダー

上川・層雲峡気象↓		7月↓	
7/30	上川町 日最低気温(高) 22.5℃ 7月観測史上1位	7/21	国道でエゾタヌキ車の犠牲に ヒグマ 層上
8/2	層雲峡日最高気温 29℃ 上川町 30.5℃ 今期最高	7/26	エゾシカ 親2仔2 層
9/1	上川町 日最大10分間降水量 10mm 9月観測史上2位	7/29	国道でキタキツネ車の犠牲に 層
9/8	上川町日最高気温 31.2℃ 9月観測史上1位	8月↓	
9/9	センター前最低気温 19℃ 最高気温 28度	8/11	ジョウビタキ巢立ち雛 2羽 雌ジョウビタキ給餌 層
	上川町日最低気温(高) 18.2℃ 9月観測史上5位	8/15	国道でキタキツネ車の犠牲に 層
9/14	センター前最低気温 6℃	8/22	アカショウビン 上
9/19	上川町日最低気温(低) 10.1℃ 9月観測史上5位	9月↓	
	センター前最低気温 5℃ 最高気温 8℃	9/4	国道でエゾタヌキ車の犠牲に 層
9/20	センター前最低気温 4℃	9/8	アオダショウ幼体 層
黒岳気象他↓		カレンダー一期間 07/21-09/20 観測地：上・上川 層・層雲峡 黒・黒岳	
7/22	ナキウサギ、ギンザンマシコ、ノゴマ給餌、ヒガラ	 <p>9月19日初雪く大雪山系一帯に初雪が舞うというより、積雪のレベルとなりました。多いところでは1m以上も。</p>	
7/29	数日前より白雲岳避難小屋周辺にヒグマ 定着している可能性あり、テント泊自粛措置		
8/5	ウソつがい ヒガラ多数 ハギマシコ		
8/9	銀泉台 雨の為通行止め 10日解除		
8/12	九合目下部 エゾライチョウ		
8/14	頂上周辺シジュウカラ・ヒガラ幼鳥多数 カヤクグリ、ノゴマ、ウソ		
8/16	台風10号の影響で、銀泉台・愛山溪線通行止め		
8/19	ウソ、ウソ幼鳥、ウソ給餌、ピンズイ、ピンズイ幼鳥 ギンザンマシコ多数		
8/26	石室早朝 6℃		
8/27	ノゴマ、カヤクグリ、キタキツネ 石室早朝 4℃		
9/4	大雪山系白雲岳周辺霜おきる		
9/5	キタキツネ仔、ナキウサギ 石室早朝 3℃		
9/11	北鎮岳付近一時あられ		
9/12	大雪山各所標高高い場所でみぞれ・あられ		
9/13	大雪山各所標高高い場所でみぞれ・あられ・雪		
9/18	大雪山系ボン黒岳周辺雪舞う		
9/19	大雪山系初雪も積雪なレベルに 20日にかけて		

発行：大雪山国立公園



TEL 01658-9-4400 / fax 01658-9-4401

アドレス : <http://www.sounkyovc.net/>

開館時間 6月～10月/8:00～17:30無休・入館無料

11月～ 5月/9:00～17:00月曜日休(祝祭日は翌日)

2019年09月25日発行 M・K

白黒紙面でご覧の皆様へ～ パソコンをお持ちの方は、上記のアドレスで公開していますので、そちらもご覧下さい。

今回の子ビタね



あ～これから味く「イワギキョウ」・・・。

食べちゃったああああ・・・。

8月上旬：大雪山系・ボン黒岳にて